

八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中間案） パブリックコメントの要旨及び計画への反映について（案）

(※)計画への反映について
 ◎計画へ反映するもの
 ○既に意見の趣旨が記載されているもの
 △今後の参考とさせていただきますもの
 -その他

No.	意見要旨	計画への反映(※)	考え方
1	今回の新型コロナウイルス感染症への取組として、各小学校で預かり保護が実施されてきたが、地域によっては児童館で預かり保護が実施されるなど、地域間に差が生じている。 各小学校区毎に児童館の設置が必要であると考えており、是非、児童館の設置を計画に入れるべき。	-	小学校区毎への児童センター（児童館）の設置については、一部地域では未設置となっていますが、児童・生徒数の減少や共働き世帯の増加などの社会情勢の変化により、放課後等における児童・生徒の居場所への需要も変化してきており、現時点では児童センター、放課後児童健全育成施設及び放課後学習クラブで対応ができておりと考えていることから、新たな児童館を設置する予定はありません。
2	高校教育の資質を高める取組がなされなければならないと考えている。併せて親の教育に対する考え方や地域力を高める取組が必要だと考える。	△	高等学校の教育については、京都府教育委員会の所管となりますので、京都府教育委員会と連携し、小学校、中学校、高等学校と切れ目なく、教育の質を高めていく必要があると考えています。本市の所管となる小学校及び中学校の教育の質を高める取組については、「1 子どもが輝く未来の創生『やわた子ども未来プロジェクト』『（1）次代を生きる力の育成』」において、就学前、学校教育の充実を図ることとしております。
3	高校教育が府下の高校と比べ現実を理解し、京都府と一体となって学校教育の質を高める取組を		
4	大谷川に清流を流し、桜などを緑地帯に植えるなど、気持ちよく散歩できる環境づくりを進めることがまちの発展につながるものと考えている。	○	「3 観幸のまちの創生『訪れてよしのやわた魅力向上プロジェクト』『（2）幸せと出逢う観光まちづくり』『②観光まちづくりの推進に向けた基盤整備』」の中で、「河川・緑地空間・既存道路を利用した自転車・歩行者道の整備など、交流拠点の基盤整備を進めます。」と記載しております。
5	石清水八幡宮の国宝指定に伴い、参拝者は増加しているが、観光バスなどの停留所がないため、参拝者のバス停を整備するなど、駅前広場の活性化に取り組むことが八幡市の発展のカギになると考える。	○	「3 観幸のまちの創生『訪れてよしのやわた魅力向上プロジェクト』『（2）幸せと出逢う観光まちづくり』『②観光まちづくりの推進に向けた基盤整備』」の中で、「令和5年度の全線開通に向けた新名神高速道路の整備や本市の玄関口である京阪石清水八幡宮駅周辺の再整備などのアクセス手段の確保や河川・緑地空間・既存道路を利用した自転車・歩行者道の整備など、交流拠点の基盤整備を進めます。」と記載しております。
6	駅前の閉まっている施設などの活用が大事と考える。		
7	南北に長く良き史跡が多く存在するにも関わらず、個々が点となっており、線として結び取組が必要と考える。	○	「3 観幸のまちの創生『訪れてよしのやわた魅力向上プロジェクト』『（2）幸せと出逢う観光まちづくり』『②観光まちづくりの推進に向けた基盤整備』」の中で、「石清水八幡宮、東高野街道、松花堂、流れ橋など、市内に点在する歴史景観の保全や歴史的建造物を活かした安らぎの場づくりをはじめ、多言語案内板の整備など観光まちづくりの推進に向けた環境整備を進めます」と記載しております。
8	市の道路網を見ると南北線は比較的充実しているが、東西線や郵便局前の道路が男山中学校前で行きどまっており、市道二階堂線までの延長が必要と考える。	△	八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少・高齢化社会や地域経済の縮小を抑制するための施策を掲げた計画となっており、いただきましたご意見につきましては、今後市域全体での道路網を検討するにあたり、参考とさせていただきます。
9	京都市内、奈良市内等の神社と手を結び朱印帳のようなものを話し合い、年間通じて人が集まる仕組みを検討するべき。	○	「3 観幸のまちの創生『訪れてよしのやわた魅力向上プロジェクト』『（2）幸せと出逢う観光まちづくり』『③資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進』」の中で、「観光資源を活かしたイベント、体験プログラム開発・開催促進など、滞在型観光施策の充実に取り組むとともに、舟運の活性化など、お茶などの文化資源や三川合流域などの景観資源等をつなぐ周遊型の広域観光に、民間事業者等と協働して取り組みます。」と記載しております。
10	市内農業の特産化を進め、男山地域に直売所を設置してはどうか。	△	「4 みんなで創る多機能な力を有したまちの創生『住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト』『（1）日本一魅力的なスローライフタウンへのチャレンジ』『③自然と調和したまちの魅力の創出』」の中で、地産地消の推進を掲げております。なお、直売所の設置については、四季彩館に併設する農産物直売所や毎週土曜日に松花堂庭園・美術館に隣接する昭乗広場で開催の「松花堂ふれあい市」で農産物の直売などを実施しています。
11	梨が減少し、茶に親しむ機会を茶農家と力を合わせて多く作る必要がある。	○	「3 観幸のまちの創生『訪れてよしのやわた魅力向上プロジェクト』『（1）おもてなしの心の醸成』『②お茶のある幸せの風景の創出』」の中で、「生産団体・学校等の関係団体や地域との連携により、多様な人々がお茶に親しめる機会を提供する」と記載しております。
12	総合戦略を実現するためには、職員資質の向上が第一であり、資質の向上無くしてまちづくりの実現はできないものと考えます。	△	八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少・高齢化社会や地域経済の縮小の抑制をするための施策を掲げた計画となっており、いただきましたご意見につきましては、第5次八幡市総合計画を推進するにあたり、参考とさせていただきます。